

第12回善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

- 1 日時 平成30年2月22日(木) 15時～
- 2 場所 子ども・家庭支援センター2階 会議室
- 3 出席者 会長
委員9名
欠席5名
- 4 会議の概要
 1. 保健福祉部長あいさつ
 2. 議事
 - (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理・評価について
 - (2) 特定地域型保育事業の利用定員について
 - (3) その他
- 5 資料
 - ・教育・保育の量の実績及び見込み(資料1)
 - ・地域子ども・子育て支援事業の量の実績及び見込み(資料1)
 - ・地域型保育事業の概要(資料2)
 - ・地域型保育事業の認可基準(資料2)
 - ・事業所内保育事業について(資料3)
- 6 会議録
 1. 保健福祉部長あいさつ
 2. 議事
 - (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況・評価について
 - 〔事務局〕教育・保育の量の実績及び見込み及び地域子ども・子育て支援事業の量の実績及び見込みについて説明。
 - 〔委員〕病児保育で母子家庭への援助はあるのか。
 - 〔事務局〕定住自立圏域内は協定を締結しており、市内と同じ金額で利用できるようになっている。
 - 低所得世帯への支援については、料金設定が可能か検討する。
 - 〔委員〕一時保育に関しては利用者の希望に添えるように努力はしているが、職員不足で受け入れ枠を増やすことが難しい。
 - 〔委員〕延長保育は兄弟で利用する家庭もあり、安心して預けられる環境作りに努

めている。

〔委員〕 スタディーアフタースクールの利用は増えているが、支援員の数は足りているのか。

〔事務局〕 支援員については、十分とは言えないが確保に努めている。

〔委員〕 幼稚園一時預かりは他市にない取り組みだと思うが、利用者は何人なのか。

〔事務局〕 実績は延べ人数で記載しているので、次回は実数を記載する。

〔委員〕 4月から5月にかけてクラスの人数が増えた場合はクラスを増やして欲しい。

〔委員〕 送迎の駐車場が狭いところがある。

〔会長〕 環境整備は重要課題であり、行政に任せるだけでなく、社会全体で見守る必要がある。

— 進捗管理・評価について承認 —

(2) 特定地域型保育事業の利用定員について

〔事務局〕 地域型保育事業の概要、認可基準、事業所内保育事業について説明。

平成29年度は当初計画より入所希望が増えている。

昨年10月の会議でもお諮りし、新たな保育サービスの実施について検討した。

今回、市内3事業所のうち地域枠を設けることが可能な事業所はポエム保育所のみであった。

地域型保育事業の認可について、委員会のご意見を伺いたい。

〔会長〕 事業所内保育は国の助成があり、地域枠を設けることができる。

〔委員〕 保育料の設定はどうなるのか。

〔事務局〕 地域枠については市の保育料と同じ扱いで、市への申し込みが必要。

〔委員〕 従業員の人数は変わると思うが、毎年4人確保できるのか。

〔事務局〕 基準を満たせば、4人の受け入れは可能。

〔委員〕 いつからスタートするのか。

〔事務局〕 認可と確認の作業があるため、4月1日スタートは難しい状況。

〔委員〕 善通寺市に待機児童はいないのか。

〔事務局〕 平成30年4月1日はいない予定。

〔会長〕 少しでも地域枠が開放されれば、働きたい人の追い風になるように思う。事業所内保育事業の枠ができれば、働くきっかけにもなり、他の事業所に広がる可能性も見えてくる。

協議会としては事業所内保育の実施について、前向きに進めてもらいたい。

— 特定地域型保育事業の利用定員について承認 —

(3) その他 なし

— 委員から特段の意見はなく閉会する —